

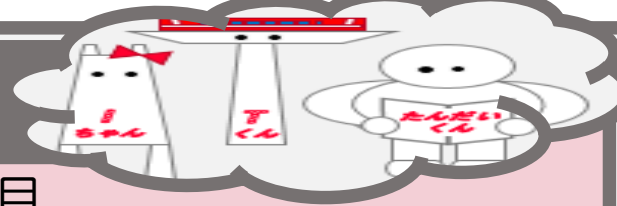
2023
令和5年6月5日
第16号
(通算62号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 就職合格、嬉しい報告!



本校で学ぶIT専門技術と卒業生の活躍が注目されています。合格を頂いた企業と学生は次のとおりです。

- 「株式会社オカムラ」三村 航芽（水戸商高卒）さん
- 「株式会社ネクシモ」藤咲なる美（水戸三高卒）さん
- 「株式会社EPSON」小口 大翔（友部高卒）さん



左から 三村航芽さん、藤咲なる美さん、小口大翔さん

Q1 これからのIT活用と抱負?

- A1 三村さん
「社会問題を解決するIT技術者」
- 藤咲さん
「お客様に喜んで頂けるような製品を作り、信頼を大切にできる技術者」
- 小口さん
「複雑なシステムを作る技術者です」

Q2 あなたの趣味は?

- A2 三村さん「ゲームです」 藤咲さん「絵を描く事と検定試験の勉強です」
小口さん「読書、ゲーム、運動、YouTubeです」

Q3 本校での学びと成果は?

- A3 三村さん「プログラム習得と基本情報技術者試験の取得」
藤咲さん「基本のプログラミングからマイコン制御などまで幅広い分野の知識を得られた。どの分野で働くにしても役立つ学びです」
小口さん「ハードウェア、ソフトウェアどちらも幅広く学んだ事で、面接でも、ネタ切れにならずにお話できました」

2 専門的に学べるのは魅力

6月2日（金）、本校の大学校化説明会が開催され、県内の高校24校の25名の先生方が参加しました。令和8年度に大学校に変わり、既存の専門課程（2年間）と新設の応用課程（2年間）の二つの課程となります。

これにより専門課程後の就職もできますが、応用課程へ内部進学し、通算4年間の履修が可能となります。修了時に学位の授与はありませんが、就職では大学卒業と同等の待遇での採用となります。

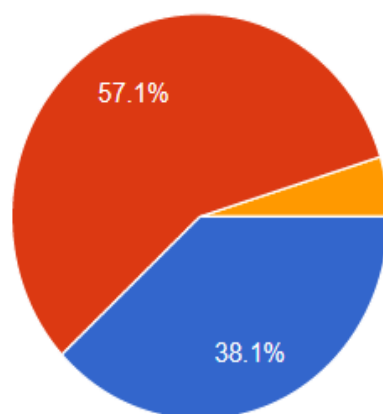
参加された先生は「魅力的であるが、経済的な理由などもあり、2年の希望もあると考えています」「2年で就職するか進学して

4年間学習するか学生が選択できる点が魅力的である」「大学校と言いつらいところもある」「さらに専門的に学べるのは魅力」等



大学校化説明会の様子

本校の大学校化についてどう思いますか



- とても魅力的である
- 魅力的である
- どちらともいえない
- 魅力的でない
- まったく魅力的でない

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 茨城新聞(2023年6月1日) 気になる記事1分で紹介

◇要約

- 山田真生さん（勝田高卒）
アプリシエイトは5月24日、水戸市三の丸本社で、茨城新聞を活用した新入社員研修を行った。
14人が参加し気になる記事を2人組で1分間で紹介する「1分プレゼン」を体験し、新聞から確かな情報を効率的に得る方法を学んだ。

◇感想

- 小野瀬あゆさん（那珂高卒）
スマホで見るネットニュースは全国規模のものが多い気がする。
地元のことをよく理解したり、関心をもつには、新聞を利用するのが良い方法だと思いました。私も少し新聞を読んでみようと思います。

- 篠田大和さん（鹿島高卒）
記事を1分間で紹介することは、要約能力だけにとどまらず、相手に分かりやすく、面白く伝える能力も同時に培われることから、IT系の職に就く自分もプレゼン力の向上に役立ちそうな取り組みであると感じた。

- 吉田海冬さん（茨城東高卒）
現代社会において、紙媒体となる新聞の需要が減っていると感じた。
最近ではテレビやラジオでニュースを見たり聞いたりすることができたり、スマホで気になる記事のみを読むことが出来る。しかし、新聞を読むことで興味のないニュースを読むことも大切だと感じた。

- 佐藤 豪さん（石岡一高卒）
自分は家で新聞を読まなかったが、これを機に読んでみようと思った。
自分の知らない新聞の良さを知った。例えば、自分の住んでいる地域を身近に感じられるなど、自分にとってプラスの習慣をつけていきたいです。

